

■ 指定都市・中核市・特例市の市長による都市間連携を考えるシンポジウムより
(平成24年10月19日 時事通信ホール)

基調講演(北川正恭早稲田大学大学院教授)

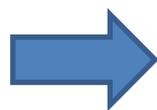
- 縦社会から、横展開・水平連携へ
- 指定都市、中核市、特例市は近隣市町村と連携を
- 全体的な構造改革のためには、職員が内発的な気力で、地方分権を確立するという覚悟をもった改革を

事例紹介(浜松市長)

- 特別自治市の創設を求める事は、基礎自治体を自立させる制度を求める運動
- 過疎地域を抱える浜松が自立した自治体経営を成功できれば、全国モデルになるのではないか

パネルディスカッション(北川教授、新潟市長、奈良市長、春日井市長)

- 指定都市は、特別自治市を含めた多様な大都市を前進させることで一致しており、中核市・特例市との連携も大いに図っていく
- 中核市と特例市の一本化を目指す決議を採択



「地域自律に向けた地方制度の抜本的な見直しを求める提言」を中核市と特例市が共同提出 (H24.11.7)

中核市市長会・全国特例市市長会との連携

■ 大都市制度の現状

- 大都市は成り立ちや地域で果たす役割など異なる特性を持っている
- 現行の類型の中では、大都市が抱える諸課題に対応できない

■ 3市長会連携の目的

- 3市長会で理念を共有し

都市連合など多数派を形成

- 基礎自治体の強化につながる地域の実情に応じた

多様な大都市制度の実現を目指す

指定都市 20市

中核市 42市

特例市 40市

102市 5,461万人

国に
働きかけ

中核市市長会・全国特例市市長会との連携

■ 今年度の目標

- 職員向け勉強会を通じて、各市長会が掲げる大都市制度を相互理解
- 3市長会によるシンポジウムの開催

スケジュール

5月	6	7	8	9	10	11	12	1
意識統一について各市長会と調整						○シンポジウム		
			市長リレーコラム					
			○勉強会		○勉強会			○勉強会



シンポジウムにて、特別自治市を含め、102市それぞれの
地域の実情に応じた多様な大都市制度の実現に向けて
3市長会の意識統一

中核市市長会・全国特例市市長会との連携

■ シンポジウム

概要

- 平成25年11月5日(火) 時事通信ホール
- 基調講演、パネルディスカッションを予定

■ 勉強会(新規)

概要

- 大都市制度をテーマの柱とした講義形式で実施
- 3回実施
(シンポジウムまでに2回、シンポジウム後に振り返りとして1回)
- 全102市の担当職員が参加対象

内容

- 地方分権の推進と基礎自治体の権限強化
- 国・広域自治体との役割分担や周辺市町村との関係性
- これからの日本を牽引するための大都市制度 など

自らにふさわしい都市像の実現に向け、内発的に大都市制度改革に取り組むことができる職員の育成